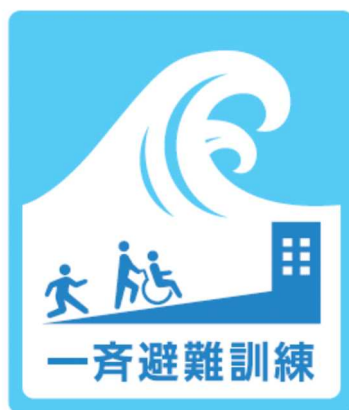


令和4年度

兵庫県津波一斉避難訓練

令和4年11月2日(水)実施

実施報告書



兵 庫 県

【目次】

○訓練概要	1
○訓練結果	5
○広報状況	11
○アンケート調査	17

訓練概要

1 実施日時

令和4年11月2日（水）

例年「津波防災の日」である11月5日に実施しているが、気象庁及び総務省消防庁の「緊急地震速報伝達訓練」が2日実施であることから、日程を合わせ2日に実施した。

＊「津波防災の日・世界津波の日」（11月5日）関連事業として実施

○午前10時00分：地震発生（防災行政無線などでお知らせ）

※気象庁・総務省消防庁の緊急地震速報伝達訓練による

○午前10時02分：大津波警報発表

（県からの緊急速報メール<エリアメール>、Yahoo!防災速報）

2 訓練対象地域

(1) 南海トラフ地震津波浸水想定区域



※対象市町における津波浸水想定区域(浸水深)は、兵庫県 CG ハザードマップで確認できます。

<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/hazmapap/top/select.asp?dtp=9>

(2) 日本海沿岸地域地震津波浸水想定区域



3 訓練対象人数

約37万人（津波浸水想定区域の昼間人口）

4 訓練の想定

- (1) 南海トラフ地震 最大震度7、最高津波水位8.1m
- (2) 日本海沿岸地域地震 最大震度6強、最高津波水位5.3m

5 訓練の特徴

- (1) 県内沿岸地域全体において訓練を実施（R2から日本海沿岸地域地震を想定に追加）
- (2) 対象市町の住民や滞在者約410万人超を対象にした緊急速報メールの一斉配信
- (3) 「ひょうご防災ネット」アプリを活用した周知
- (4) 対象市町出身の著名人を起用したポスター・チラシ等の広報物による意識醸成

6 訓練方法

訓練参加方法（行動指針）

1 【正確に知る】主体的な避難行動の徹底

以下のことを知ったうえで訓練当日を迎えましょう。

○まずは、身の安全を守りましょう。

（「3つの安全行動」＝「まず低く！、頭を守り！、動かない！」）



○強い揺れや弱くても長い揺れがあった場合には津波の発生があることを考えましょう。

○津波の発生が想起される場合、津波警報等の情報を待たずに自らできうる限り迅速に高い場所への避難を開始しましょう。

○大津波警報を見聞きしたら速やかに避難しましょう。

○海岸保全施設等よりも海側にいる人は、津波注意報でも避難しましょう。

○避難支援者等の負担軽減に繋がることから、津波到達までに時間の余裕があっても、早めに避難行動を開始しましょう。

○津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報が解除されるまで気をゆるめず、家に戻らないようにしましょう。

2 【実際に動く】地震発生後、速やかに避難するための取組推進

以下のことを意識して訓練に参加しましょう。

○避難誘導や防潮門扉の閉鎖にかかる実際の時間経過を意識しましょう。

○緊急速報メール、ひょうご防災ネット、防災無線、広報車等の伝達広報ツールを幅広く活用しましょう。

3 【自らの安全を伝える】安否確認のためのソフト対策の確認・改善点把握

日々進歩している減災に有効なソフト対策等を実際に試しましょう。

○家族等の安否確認のために津波の危険性がある地域へ戻ったり、その場に留まったりすることを減らすため、災害伝言ダイヤル等（災害伝言板、LINE、Twitter など）を利用し、避難後の家族等の安否確認方法をあらかじめ決め、訓練当日に実際に連絡を行いましょう。

訓練参加方法（行動指針）

<p>1 正確に知る</p> <p>まずは、身の安全を守りましょう。</p> <p>3つの安全行動 「まず低く！頭を守り！動かない！」 *ShakeOut 振動伝達時</p> <p>津波の発生が想起される場合、津波警報等の情報を待たずに自らできうる限り迅速に高い場所への避難を開始しましょう。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので警報・注意報が解除されるまで気をゆるめず、家に戻らないようにしましょう。</p>	<p>2 実際に動く</p> <p>避難誘導や防潮門扉の閉鎖にかかる実際の時間経過を意識しましょう。 緊急速報メール、ひょうご防災ネット、防災無線、広報車等の伝達広報ツールを幅広く活用しましょう。</p>
	<p>3 自らの安全を伝える</p> <p>災害伝言ダイヤル等（災害伝言板、LINE、Twitter など）を利用し避難後の家族等との安否確認方法をあらかじめ決め、訓練当日に実際に連絡を行いましょう。</p>

7 訓練情報

(1) 主な訓練情報発信ツール

- 緊急速報メール<エリアメール> (対応機種のみ) : 携帯電話会社の防災情報サービス
- ひょうご防災ネット (登録者のみ) : 兵庫県の防災情報サービス
- Yahoo!防災速報 (登録者のみ) : ヤフー株の防災情報サービス

(2) 発信内容

10:00 訓練スタート (防災行政無線、サイレン等)

※緊急地震速報訓練で情報伝達訓練に取組んだ市町

10:02 緊急速報メール (兵庫県から発信)、Yahoo!防災速報 (ヤフー株から配信)

緊急速報メール (兵庫県から発信)

題:【訓練】兵庫県津波一斉避難訓練

これは訓練 (DISASTER DRILL) です。

10時02分に兵庫県瀬戸内海沿岸及び淡路島、日本海沿岸に大津波警報が発表されました。身を守るための、適切な避難行動をとってください。

以上で訓練を終わります。(兵庫県)

Yahoo!防災速報 (ヤフー株から配信)

題:【訓練】大津波警報 (10時02分発表) 兵庫県

※訓練通知※

※DISASTER DRILL※

【発表時刻】

11月2日10時02分

大津波警報発表

3mを超える巨大な津波が予想されます。厳重に警戒してください。

【対象の沿岸】

兵庫県瀬戸内海沿岸及び淡路島

兵庫県日本海沿岸

直ちに安全な場所へ避難してください。

※本情報は、「兵庫県津波一斉避難訓練」の訓練通報です。

兵庫県との共同作業により、Yahoo! JAPAN が発信しています。

実際の災害時には、身の安全を確保し、適切な情報に基づき避難行動をとってください。

▼兵庫県津波一斉避難訓練

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/r4tsunami.html>

※ 緊急速報メール(エリアメール)について

① 一般的な注意事項

- 受信できなかった場合、再受信はできません
- 自治体の境界付近にいる場合や端末の状態などにより、同じ内容の通知が複数回届く場合があります。
- 機種によっては、受信できない場合や、受信するための設定が必要な場合があります
- 通話中やパケット通信中、そのほかの通信中、電源を切っている場合、機内モードを設定している場合、電波状態が悪い場所（トンネル、地下など）では受信することができません。
- 緊急地震速報であっても、地震などの揺れを感じるよりも早く必ず受信できるとは限りません。
- マナーモード・公共（ドライブ）モード時での専用ブザー音、専用着信音、バイブレーションの鳴動は、携帯電話で設定できます。

② 気象庁のホームページ

ホーム > 知識・解説 > 特別警報について > 緊急速報メールの配信について
(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/kinsoku.html>)

③ サービスを提供している携帯電話各社のホームページ

○NTT ドコモ

ホーム > サービス・機能 > 条件からサービスを探す >
緊急速報「エリアメール」 > ご注意事項

(<https://www.docomo.ne.jp/service/areamail/notice/?d=2&p=1,2>)

○a u

トップ > スマートフォン・携帯電話 > 災害・緊急時の対策 > 緊急速報メール
(<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/>)

○ソフトバンク

ホーム > スマートフォン・携帯電話 > サービス >
緊急速報メール（緊急地震速報＋津波警報＋災害・避難情報）

(https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/)

○楽天モバイル

トップ > オプションサービス > 緊急速報メール

(<https://network.mobile.rakuten.co.jp/service/emergency-alert-mail/>)

(3) 災害伝言ダイヤル・災害伝言板 ※訓練目的で開設

NTT西日本、NTTドコモ、a u、ソフトバンク、楽天モバイル

11月2日 10:00 災害伝言板開設 15:00 災害伝言板閉鎖

※実運用させている場合は訓練利用不可

訓練結果

11月2日（水）10時00分に南海トラフ地震・日本海沿岸地域地震発生(※)のため、10時02分に大津波警報発表という想定で、10時02分に兵庫県から緊急速報メール<エリアメール>を、「地方公共団体が配信する災害・避難情報」として発信し、緊急速報メールを合図に津波避難行動を行う形での訓練を実施した。

(※消防庁・気象庁の緊急地震速報訓練に伴う市町の情報伝達訓練により緊急地震速報を知らせる音響等発生するため、それを合図にシェイクアウト訓練実施)

また、令和元年5月に運用開始した「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリのプッシュ通知を活用した訓練周知を行うとともに、昨年同様ヤフー(株)と連携し、「Yahoo!防災速報」内の「防災トレーニング」機能を利用した津波避難にかかる事前学習ツールを提供した。

1 訓練実施の事前連絡があった団体数・人数

津波浸水想定区域(日本海沿岸地域は浸水想定区域を含む地区)に所在する事業所等に、参加を呼びかける事前アンケートにより、以下の訓練実施団体・人数の回答を得た。

- 小中高大学 30校 32,017人(神戸聴覚特別支援学校 他)
 - 幼稚園保育園 34園 4,048人(からたち幼稚園 他)
 - 社会福祉施設 19施設 589人
 - 企業 151社 43,554人
 - その他 121施設 33,600人(官公署、自治会、寺社 他)
- 合計 355施設 113,808人(令和3年度 313施設 109,648人)**

事務連絡
令和4年9月9日

津波浸水想定区域に所在する事業者 各位

兵庫県危機管理課
災害対策課長

令和4年度兵庫県津波一斉避難訓練について (案内)

平素は、防災行政に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
兵庫県では、南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震とそれに伴う津波に備えるため、毎年、津波浸水想定区域を含む地域を管轄する15市町(以下、「対象地域」という。)において津波一斉避難訓練を行っており、本年は11月2日(水)に実施します。

名称におかれましては、新型コロナウイルス感染症防止対策に留意の上、実態が発生した場合の避難行動等を確認していただくなど、積極的に訓練に参加していただきますようお願いいたします。
なお、訓練の概要や参加方法をお知らせする資料(別紙)とチラシを同封いたしますので、あわせてご一読をお願いいたします。

1 訓練の実施要領
(1) 各自の2日、今年10月1日に対象地域に地震が発生したとの想定により、事業所内において、地域の別の安全確保行動(①姿勢を低く、②頭部を守り、③動かない)を身につける訓練(シェイクアウト訓練)を実施してください。
(2) 数分後、対象地域に対し、大津波警報の発表をお知らせする緊急速報メール[※]が一斉に送信されますので、事業所内において避難を呼びかける一斉放送や避難指示の放送、実際の避難訓練等、事業所単位で実施可能な訓練[※]に取り組んでください。
※1 緊急速報メール[※]については別添で要領を添付しております。
※2 地震や津波の発生に伴うその他の安全確保行動(例: ① 姿勢を低く、② 頭部を守り、③ 動かない)も実施してください。

2 アンケートに対する回答のおお願いについて
この案内文は「南海トラフ地震防災対策計画作成推進者[※]」及び日本海沿岸の1市2町において津波浸水想定区域を含む地域に所在する事業者様へ送付させていただきます。
上記訓練への参加の可否等についてご検討の上、9月30日(金)までに裏面のアンケートによりFAX又は兵庫県ホームページ(併用)にアクセスしてアンケート回答欄に記入し、ご回答をお願いします。
※ 「南海トラフ地震に関する地域別対応の概要」に関する特許権に該当し、南海トラフ地震防災対策推進本部に所在する事業者は、本資料の複製や転載ができません。本資料の再配布や複製等を行う場合は、南海トラフ地震防災対策推進本部の承認が必要となります。お問い合わせ先は、事務局(〒650-8501 兵庫県神戸市中央区南長狭通1-1-1)です。TEL: 078-362-0911 E-mail: antai@pref.hyogo.lg.jp

3 公表・取組への協力依頼について
訓練を実施するにあたり、県民の意識を広く啓発を図る目的で、参加事業者について、兵庫県ホームページに掲載し、報道機関に対する広報活動を実施する予定です。
また、訓練内容や規模によりましては、事前に調整の上、報道機関から取材の協力をお願いさせていただく場合もあります。
訓練に参加していただく事業者の皆様には、広報活動や訓練当日における報道機関による現地取材の可否についてご検討をお願いします。(裏面アンケート「問4・5」)。
なお、事業者名の公表や報道機関の取材に同意していただけない場合であっても、訓練参加は可能です。

【問い合わせ】 兵庫県危機管理課災害対策課
訓練・連携課 危機・大津波・中江
TEL: 078-362-0911 FAX: 078-362-0911
E-mail: antai@pref.hyogo.lg.jp

令和4年度兵庫県津波一斉避難訓練事前アンケート

9/30【回答期】 兵庫県危機管理課災害対策課訓練・連携課 石橋・大津野・中江氏
FAX078-362-0911 (送り状不要)

■問1 11月2日(水)10:00からの津波一斉避難訓練参加の可否をご記載ください。
1. 可 2. 不可 3. 都合により別の日時点で独自に実施(実施予定日 月 日)

■問2 参加予定の人数をご記載ください。
人

■問3-1 どのような訓練を希望しているかをご記載ください。(〇はいくつでも)
1. 想定している避難訓練まで実際に避難する訓練
(「問2」でご回答の参加予定人数全員ではない場合: 避難人数 人)
2. 机の下に隠れるなど身の安全を守る訓練(シェイクアウト訓練)
3. 屋外までの避難行動をとる訓練
4. 社内放送、社内アナウンスなどを利用した、避難呼びかけ訓練 *実際に訓練しない場合は×
5. 防災速報機、LINE、Twitterや学校、従業員連絡網等を利用した、安否確認・伝達訓練
6. 緊急速報メールを受信し、それによる避難場所や避難行動をイメージする訓練
7. 避難経路の確認や避難誘導・指示 入所者 従業員への教育など、机上での訓練
8. その他(自由記述)
()

■問3-2 訓練に際し、事前に調べる新型コロナウイルス感染症対策をご記載ください。(〇はいくつでも)
1. 体温・手洗い消毒 2. 十分な人と人の間隔の確保 3. マスク着用 4. その他(自由記述)
()

■問4 兵庫県の記事発表で参加団体として名前を公表することの可否をご記載ください。
1. 可 2. 不可

■問5 マスクによる取材依頼の可否をご記載ください。(コロナの感染状況により実施できない場合もあります)。
1. 可 2. 不可

<回答者>
団体名 _____
担当者(部署・役職・氏名) _____
連絡先(電話・E-mail) _____
ご協力ありがとうございました

<回答先> 兵庫県ホームページ
「問4・5」 広報活動(報道機関向け)で掲載のうえ、
他の自治体や事業者へも転送いたします。
または、FAX(〒650-8501 兵庫県神戸市中央区南長狭通1-1-1)からご回答ください。

[訓練参加依頼文書・事前アンケート]

2 主な避難訓練(取材受け入れ施設)

(1) 神戸聴覚特別支援学校

所在地：神戸市垂水区福田

参加人数：小学部児童、教職員 約 30 人

訓練内容：児童が校舎内で避難を実施した後、神戸地方気象台職員による「津波フラッグ」の説明を受講。



(2) からたち幼稚園

所在地：尼崎市大物町

参加人数：園児、教職員 約 180 人

訓練内容：園児が園庭まで避難した後、園建物の3階まで垂直避難実施。

※園庭でスピーカードローンによる避難広報も実施



3 「Yahoo!防災速報」内の「防災トレーニング」による学習

地震・津波が発生した際に「どのような行動をとるべきか」、「地震・津波の避難場所はどこか」を知り、その知識の定着を図るとともに、特に一斉避難訓練日に、仕事の都合等により避難場所への避難行動ができない場合でも、自らの避難先や避難経路等のイメージを持ってもらうことが可能となる事前学習ツールをヤフー(株)が本訓練と連携してスマホアプリ上に提供した。

○ 構成内容

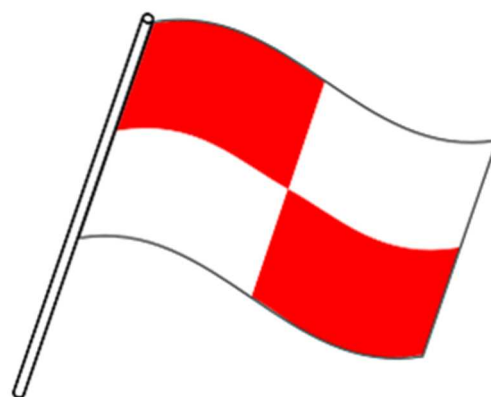
①訓練プッシュ通知	②とるべき行動	③避難先の選択	④避難場所の確認
大津波警報の詳細を表示し、画面下部で「防災トレーニング」に誘導する。	現在地を「屋外」、「屋内」から選択すると、それぞれに応じたとるべき行動が表示される。	津波からの避難に適すると思う避難先を選択すると、正否判定とともに解説が表示される。	③で、正否どちらの回答でも、現在地付近の津波にかかる避難場所マップを確認できる。
			

津波フラッグ(以下、気象庁ホームページ抜粋)について

津波フラッグは、気象庁が普及を推進している取り組みで、大津波警報、津波警報、津波注意報(以下、「津波警報等」という)が発表されたことを視覚的にお知らせする旗です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から「津波フラッグ」が加わり、県内の海水浴場等で導入が進められています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

津波フラッグは、長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインです。縦横の長さや比率に決まりはありませんが、遠くからの視認性を考慮して、短辺100cm以上が推奨されます。



津波警報等の視覚による伝達のあり方の検討について

気象庁が津波警報等を発表すると、テレビ、ラジオ、緊急速報メール、防災無線、サイレン等、様々な手段で対象地域にいる人々に伝達されます。一方で、海水浴場などにおいては、聴覚による伝達手段と比較して視覚による伝達手段が少ないことから、津波警報等の視覚による伝達手段について検討が行われました(令和元年10月から令和2年2月にかけて「津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会」を開催)。

検討の背景として、平成23年の東日本大震災では、岩手県、宮城県及び福島県における聴覚障害者の死亡率が、聴覚障害のない者の2倍にのぼったとのデータがあり1、東日本大震災における聴覚障害者への情報伝達の問題点として、①防災行政無線、サイレン、広報車による呼びかけが聞こえなかった、②停電によりテレビ(字幕)や携帯メール等が使えなかった、といった点も挙げられています2。

海水浴場等では、津波警報等が発表されたら直ちに避難する必要があります。しかし、このような場所では携帯電話を所持していないことも多く、防災行政無線やサイレンでは、聴覚に障害をお持ちの方に情報を伝達することができません。また、聴覚に障害がなくても、海に入っている場合など、波や風でこれらの音が聞こえない場合も考えられます。このような際に、津波警報等を伝達する手段として、旗による視覚的な伝達が提案されました。

次に、どのようなデザインの旗が適しているかについて、検討を行いました。実際に海水浴場において、当時先進的な自治体で用いられていたオレンジ色の旗や赤色の旗なども含めた複数のデザインの旗の視認性を検証した結果、赤白の格子模様のデザインとすることが提案されました。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

- ① 気象庁(ホーム > 知識・解説 > 津波から身を守るために > 津波フラッグ
https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html
- ② 気象庁(ホーム > 各種申請・ご案内 > 報道発表資料 > 令和2年報道発表資料 > 「津波フラッグ」の運用が始まります)
https://www.jma.go.jp/jma/press/2006/24b/tsunamiflag_unyou.html

【訓練実施の事前連絡があった主な団体】 <順不同>

* 訓練参加について、公表の承諾があった団体(11月2日実施分)のみ記載

(神戸市)

(株)上組、ナブテスコ(株)住環境カンパニー甲南工場、(株)明和工務店、(株)シャルレ、(株)サンテレビジョン、神戸港湾福利厚生協会、ノエビアスタジアム神戸、兵庫県こころのケアセンター、西日本旅客鉄道(株)、神戸クリスタルタワー管理者 (株)カワサキライフコーポレーション、神戸市営地下鉄海岸線 ハーバーランド駅、同みなと元町駅、聖ミカエル兵庫幼稚園、(株)神戸マツダ、大阪湾広域臨海環境整備センター、兵庫県信用保証協会、兵庫県信用組合、神戸市総合児童センターこべっこランド、三井住友海上火災保険(株)、NTT西日本兵庫支店、神戸国際大学、神戸地方合同庁舎管理者 財務省近畿財務局神戸財務事務所、甲陽運輸株式会社、全日本海員組合関西地方支部、ふかえ虹こども園、中央卸売市場東部市場、(一社)兵庫県自動車整備振興会、デザインクリエイティブセンター神戸、幼保連携型認定こども園神徳館こども園、神戸ホテルジュラク、TOA(株)、兵庫県電気工事工業組合、関西電力送配電(株)兵庫支社、(株)竹中工務店、森本倉庫(株)六甲アイランド営業所、早駒運輸(株)、ティー・エム・ターミナル(株)神戸事業所、グループホーム小規模多機能施設更紗、住吉南町デイサービスセンター、神戸ゆたか園、神戸市中央区文化センター、神戸信用金庫、阪神高速道路(株)管理本部神戸管理・保安部、神戸市立運南保育所、国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所、神戸魚崎メディアートプラザ、神戸市産業振興財団、(一社)神戸銀行協会、(株)トクナガエンジニアリング、マリンピア神戸さかなの学校、SPA専太平のゆ、そんぼの家S灘大石、神戸税関、兵庫県災害医療センター、テクノソービ(株)、シスメックス(株)、気象庁神戸地方气象台、兵庫県立兵庫津ミュージアム(指定管理者：アクティオ(株))

(尼崎市)

貴布禰神社、尼崎市シルバー人材センター、尼崎武庫川工業団地協同組合、尼崎市クリーンセンター、K E E環境工事(株)、安藤病院、日本山村硝子(株)、ファースト住建(株)、(株)関電アメニックス尼崎テクノランド事業部、(株)トーショー、手作りパン工房あたか、すまいる保育園立花、都ホテル尼崎、小厚化成(株)尼崎工場、ダイセルバリューコーティング(株)、兵庫県武庫川下流浄化センター、サービス付き高齢者向け住宅 ほのぼの建家、プラネット東難波、からたち幼稚園、難波愛の園幼稚園、兵庫県立尼崎高等学校、尼崎市立明城小学校、若葉保育園、関西保育福祉専門学校、檜の木会開明かしの木こども園、尼崎市、阪神南県民センター

(西宮市)

日新信用金庫西宮今津支店、医療法人喜望会谷向病院、西宮市立今津公民館、新西宮ヨットハーバー(株)、白鷹(株)、西宮市立鳴尾保育所、長来軒ビル、学校法人兵庫医科大学、今津港湾荷役(株)、西宮市立鳴尾東小学校、兵庫県立西宮香風高等学校、西宮市立鳴尾南中学校、兵庫県立西宮南高等学校、西宮市立今津小学校、幼保連携型認定こども園高須の

森、社会福祉法人聖徳園 いまづ聖徳園、社会福祉法人 真砂ちどり保育園、ニコニコ桜今津灯保育園、兵庫県立西宮今津高等学校、特別養護老人ホーム第2シルバーコースト甲子園、社会福祉法人愛心会スター保育園、西宮市東部総合処理センター内 JFE エンジニアリング(株)、武庫川すずかけ作業所、(株)貢喜住宅型有料老人ホームくすのきコート、社会福祉法人京慈会コペル保育園、西宮回生病院

(姫路市)

姫路タンクターミナル(株)、専徳寺保育園、社会福祉法人幸介護老人福祉施設なごみの里

(高砂市)

高砂市立曾根小学校

(相生市)

相生市民体育館、半田中央病院、相生商工会議所、株式会社 I H I 相生事業所、(株)なばの里デイサービスセンター、兵庫県立相生産業高等学校

(たつの市)

たつの市商工会、たつの市立御津南こども園

(赤穂市)

住友大阪セメント(株)赤穂工場

(洲本市)

洲本市立図書館、洲本税務署、淡路県民局、洲本市立第二小学校、やなぎオリーブ保育園、洲本ポートターミナルビル、洲本市役所、リゾートトラスト(株)エクシブ淡路島

(南あわじ市)

民宿浜福、阿那賀地区自治会、南あわじ市立沼島中学校、養護老人ホームさくら苑、幼老複合型ういず

(新温泉町)

浜坂高等学校、浜坂中学校、株本建設工業(株)

※ 訓練参加者について

特に、津波浸水想定区域(日本海沿岸地域は、浸水想定区域を含む地域)に所在する事業所等(南海トラフ地震防災対策計画の作成義務がある事業所及び日本海沿岸地域における同種の事業所)に対しては、個別にチラシ等を郵送し、事前アンケートにより訓練実施の有無等を確認。

○南海トラフ地震防災対策計画の作成義務者

南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法第3条に基づく条南海トラフ地震防災対策推進地域のうち、兵庫県が作成した[南海トラフ巨大地震津波浸水想定図](#)で、水深30cm以上の浸水が想定される区域内(下記うちのゴシック体で表示した市町)において、同法第7条及び同法施行令第3条に掲げる施設又は事業を管理し、又は運営する事業者が作成対象(義務)者となります。

○兵庫県内の南海トラフ地震防災対策推進地域(うち、ゴシック体は浸水想定区域あり)

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、加西市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、稲美町、播磨町、太子町

※[南海トラフ地震防災対策計画を作成すべき者に係る区域\(住所\)](#)

(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk37/documents/taisakukeikakukuiki.pdf>)

○作成義務者の業種(概要)

- ・病院、劇場、百貨店、旅館その他不特定かつ多数の者が出入りする施設(映画館、キャバレー、遊技場、カラオケボックス、料理店、飲食店、マーケット、ホテル、店舗、診療所、図書館、博物館、公衆浴場、神社、寺院、教会、車両の停車場・船舶や航空機の発着場、駐車場、学校、福祉施設、放送局、地下街、文化財、その他の事業場等)
- ・石油類、火薬類、高圧ガスその他の危険物を製造、貯蔵、処理又は取扱いを行う施設
- ・鉄道事業その他一般旅客運送に関する事業(鉄道、軌道、一般旅客定期航路、旅客不定期航路、一般乗合旅客自動車運送)
- ・その他、地震防災上の措置を講じる必要があると認められる重要な施設又は事業(水道事業、電気事業、ガス事業、鉱山、貯木場、動物園、勤務者が1,000人以上の工場等)

※[作成義務者一覧](#)

(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk37/documents/sakuseigimusya.pdf>)

広報状況

芦屋市出身の大相撲力士(大関) 貴景勝光信さんにイメージキャラクターのご協力をいただき、ポスター等を作成し各所に掲示するとともに、平成28年度に作成した尼崎市出身女性デュオの「あまゆうず」さんによる歌「走れタカダイ」を引き続き訓練テーマソングとして活用し、県庁舎内で放送するなど、訓練実施について周知を図る活動を行った。

あわせて、県及び市町にて活用可能なツール（ホームページ、広報誌、ツイッター等）を最大限に活用し広く住民に周知するとともに、昨年同様訓練情報発信ツールとして活用した「Yahoo!防災速報」のプッシュ通知や、令和元年5月に運用開始した「ひょうご防災ネット」スマートフォンアプリのプッシュ通知を活用し、各登録者へ周知した。

また、特に津波浸水想定区域(日本海沿岸地域は、同区域を含む地域)に所在する事業所等に対しては、個別にチラシ等を郵送するとともに、事前アンケートにより訓練実施の有無等を調査した。

1 広報ツール

- (1) ポスター A1サイズ1,000枚、B2サイズ300枚、A3サイズ1,600枚
*主に公共交通機関・集客施設・行政機関等で掲示
- (2) チラシ A4サイズ35,000部



[ポスター]



[チラシ]

(3) テーマソング CD

「走れタカダイ～津波避難のうた～」

- 作詞 兵庫県災害対策課
- 作曲 山本茂之
(はばタンカーニバル作詞作曲者)
- 編曲 品川明子・あまゆうず
- 歌 あまゆうず



【1番】

君と僕の 大事な命
守ろう 守ろう 津波から
命を守る 安全な場所
みんなが助かる 安全な場所

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
避難所へ行こう いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！

【2番】

家族 友達 大事な命
逃げよう 逃げよう 冷静に
家族を守る 安全な場所
みんなが助かる 安全な場所

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
約束の場所へ いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
みんなの力で 命を守ろう

目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
避難所へ行こう いちもくさん
目指せ！タカダイ！走れ！タカダイ！
大きな波から 命を守ろう

手を取り 声掛け 命を守ろう

- 歌唱動画、歌詞カード、楽譜は、毎年度県ホームページ「兵庫県津波一斉避難訓練のページ」に掲載しています。

- 「走れタカダイ」の県庁内での放送

毎月 17 日(10 月を除く)、10 月の毎週月曜日、訓練前日(11 月 1 日)

2 主なポスター等配布・依頼先 (訓練対象市町 15 市 3 町内)

(1) 官公庁

市町、県民局、警察署・運転免許更新センター 等

(2) 公共交通機関

JR 西日本、阪神電車、阪急電車、山陽電車、神戸電鉄、神戸新交通

関西エアポート神戸(株)、(株)こうべ未来都市機構(神戸ー関空ベイシャトル)

高速道路 S A 等

(3) 学校

県立学校(高等学校、特別支援学校)、私立高等学校、大学 等

(4) 集客施設等

スーパー、映画館、道の駅 等

(5) 事業所

病院、郵便局 等

(6) 団体

兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、兵庫県栄養士会、兵庫県経営者協会

兵庫県理容生活衛生同業組合、兵庫県美容業生活衛生同業組合、

兵庫県旅館ホテル生活衛生協同組合、兵庫県葬祭事業協同組合連合会

兵庫県タクシー協会、兵庫県バス協会、兵庫県警備業協会、兵庫県遊技業協会 等

3 ラジオ放送

○防災ホットライン (10月17日 9:38～ ラジオ関西)

○寺谷一紀のまいど！まいど！「防災マッカセナサイ！」(10月28日 8:24～ 同上)

4 兵庫県広報

(1) 知事定例記者会見 (10月26日 訓練実施詳細発表)

【避難訓練の意義、参加者への呼びかけ】

兵庫県は阪神・淡路大震災の経験がある中で、津波に対する意識を、これからもう少し増やしていくことも大事ではないかと思っています。津波の被害はとても甚大で、沿岸部のコミュニティや社会を壊滅させることにもなります。この津波というものは、海に面しているところは、どこであっても来る可能性がありますので。今回、特に南海トラフ地震などに備えて、沿岸部、淡路島の福良港や、日本海側もそうですが、沿岸部でしっかりと訓練をしていくことは大事だと思っています。

今回の訓練はいろいろな今の社会のあり方を見据えて、多言語でのドローンによる呼びかけであったり、いろいろなことをしますが、そういった取組をしっかりと、これからもやっていきたいと思っています。※11月1日 神戸新聞に記事掲載

(2) 県ホームページバナー (10月24日～11月2日)



本文

対象地域では10時過ぎに避難を呼びかける緊急速報メールがスマートフォン・携帯電話に届きます！！

(3) 県広報誌

○県民だよりひょうご（11月号）



お知らせ

県内で一斉に 津波の避難訓練を実施

南海トラフ地震と日本海沿岸地域地震の津波浸水想定区域内にある15市3町を対象に、避難訓練を実施します。当日10時過ぎに避難を呼びかける緊急速報メールが携帯電話に届きます。適切な避難行動を取り、津波に備えましょう。

●11月2日※10:00～

●県災害対策課

●078-362-9810

●078-362-9911

兵庫県津波一斉避難訓練

(4) ひょうご防災ネット

○事前広報【10月28日（金）16:30】 ※兵庫県緊急情報登録者向け

題：11月2日（水）に津波一斉避難訓練を実施します

兵庫県では、11月2日（水）の午前10時頃から、淡路島・瀬戸内海沿岸及び日本海沿岸18市町で、南海トラフ地震・日本海沿岸地域地震を想定した「津波一斉避難訓練」を実施します。

訓練地域内で、緊急速報メールに対応している携帯電話をお持ちの方に対し、マナーモードであっても警報音が鳴り、避難を呼びかけるメールを送ります。

まだ訓練をご存じでない周りの方々へ是非、お知らせください。

避難先をイメージすることも訓練の1つです。訓練の前に、いざというときに速やかに避難行動がとれるように、「ひょうご防災ネット」スマホアプリから「マイ避難カード」を作成してみましょう。

また、南海トラフ地震・日本海沿岸地域地震によって津波が発生した場合の浸水範囲や深さを「兵庫県CGハザードマップ」で確認できます。今いる場所の津波ハザードマップもご覧いただけます。

詳しくは兵庫県ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/r4tsunami.html>

をご覧ください。（「ひょうご防災ネット」スマホアプリの「防災関連情報リンク」からアクセスできます。）

○訓練前日【11月1日（火）17:01】 ※全員

題：11月2日津波一斉避難訓練実施

11月5日は津波防災の日です。

それに先立ち、明日11月2日（水）兵庫県では18市町（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市、南あわじ市、豊岡市、新温泉町、香美町）と連携して南海トラフ巨大地震・日本海沿岸地域地震による津波を想定した、一斉避難訓練を実施（午前10時02分頃に緊急速報メールを配信）します。この機会に災害時の避難行動などを改めて確認していただくとともに訓練参加にご協力をお願いします。

また、上記18市町と隣接する市町の境界付近では、訓練地域でなくても緊急速報メールを受信してしまう可能性があります。

(5) ツイッター

○11月1日 兵庫県広報



11/2(水) 10:00~
兵庫県 #津波一斉避難訓練

地震や津波が起こったら
まずは自分の命を自分で守る
それには「#逃げる」ことがとても大切です

いざというときに慌てないように
日頃から訓練しておきましょう

瀬戸内・日本海沿岸の15市3町が対象です
詳しくは
web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/r4tsunami...

真剣勝負 稽古も訓練も

2022年
11月2日(水)
10:00開始

南海トラフ地震・日本海沿岸地域地震

兵庫県津波一斉避難訓練

マナーモードにしているも
携帯電話が一斉に鳴ります!!

対象地域では、当日10:00過ぎに、避難を呼びかける
緊急避難メール(スマートフォン向け)が、携帯電話に届き
ます。11/2(水)10:00以降はメールが届きません。

兵庫県津波一斉避難訓練の詳細 →
津波浸水想定区域を知る「CGハザードマップ」 →
「ひょうご防災ネット」スマホアプリのダウンロード

午後6:00・2022年11月1日

5 その他広報

(1) 鉄道 駅舎・車内等放送

J R 西日本 他（主に1週間前～当日）

【放送文例】

「兵庫県では、11月2日の午前10時から、18市町で、南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震を想定した『津波一斉避難訓練』を実施します。

午前10時過ぎに、緊急速報メールに対応している携帯電話をお持ちの方に対し、マナーモードであっても警報音が鳴り避難を呼びかけるメールが届きます。

その場でただちに身を守る行動を取るなどしてください。

以上、防災訓練に関する兵庫県からのお知らせでした。」

(2) Yahoo!防災速報（10月28日）

○訓練予告【10月28日（金）12:05】

題：【お知らせ】11月2日に「兵庫県津波一斉避難訓練」を実施します

11月5日の津波防災の日には先立ち、11月2日に兵庫県で南海トラフ巨大地震及び日本海沿岸地域地震による津波を想定した避難訓練が行われます。

ヤフー防災速報でも、当日の10:02に訓練のプッシュ通知を配信いたします。

それに先がけ、地震・津波発生時にどう行動するかを学ぶ「防災トレーニング その時、どう動く？」を公開中です。

いざという時に自分の身を守るためには、どのような行動が必要かをあらかじめ確認しておきましょう。

◎新型コロナウイルス感染症発生状況下での避難について

津波警報が発表された場合、危険な場所にいる人は、新型コロナウイルス感染症が収束しない中でもためらわず、少しでも早くなるべく高い場所に避難しましょう。

また、避難生活が必要になった場合に注意するポイントをまとめていますので、事前の備えにご活用ください。

▼新型コロナウイルス感染症発生状況下での避難行動

<https://yahoo.jp/fLbbWq>

※訓練通知の際には、「訓練通知」といった表記を行い、実際には地震や津波などが起きていないことが分かるよう配慮いたします。

※訓練通知が不要な方は、アプリの「設定 > お知らせ」から「お知らせ」または「オフ」を選択してください。

※大災害の発生や悪天候などの影響で、訓練は中止となる場合があります。

▼兵庫県津波一斉避難訓練実施

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/r4tsunami.html>

アンケート調査

兵庫県では、11月2日(水)の訓練を受けて、今後の訓練実施等の参考とするため、以下の2つのアンケートを実施した。

1 津波一斉避難訓練実施者アンケート集計結果

○送付日：令和4年11月9日(水)

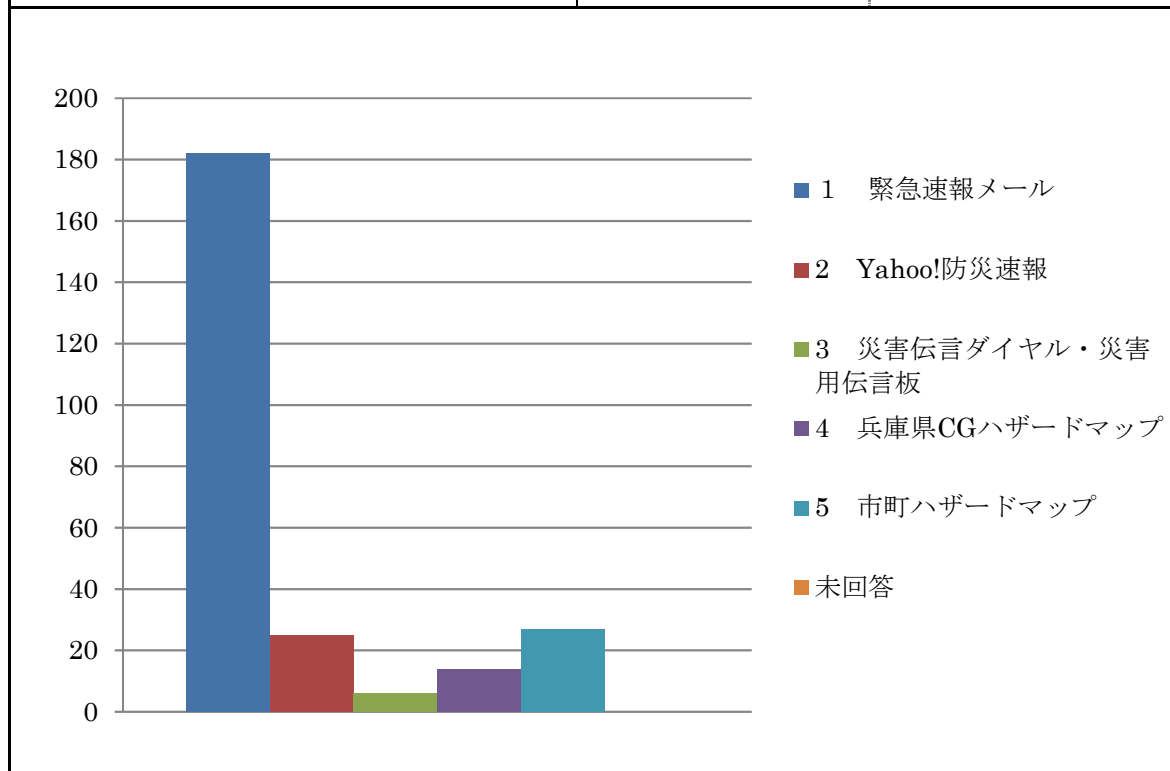
○集計方法：訓練に参加した団体(355団体)に対して、本アンケートを送付

(1) 回答件数 176件(返送率：49.5%)

(2) 回答内容

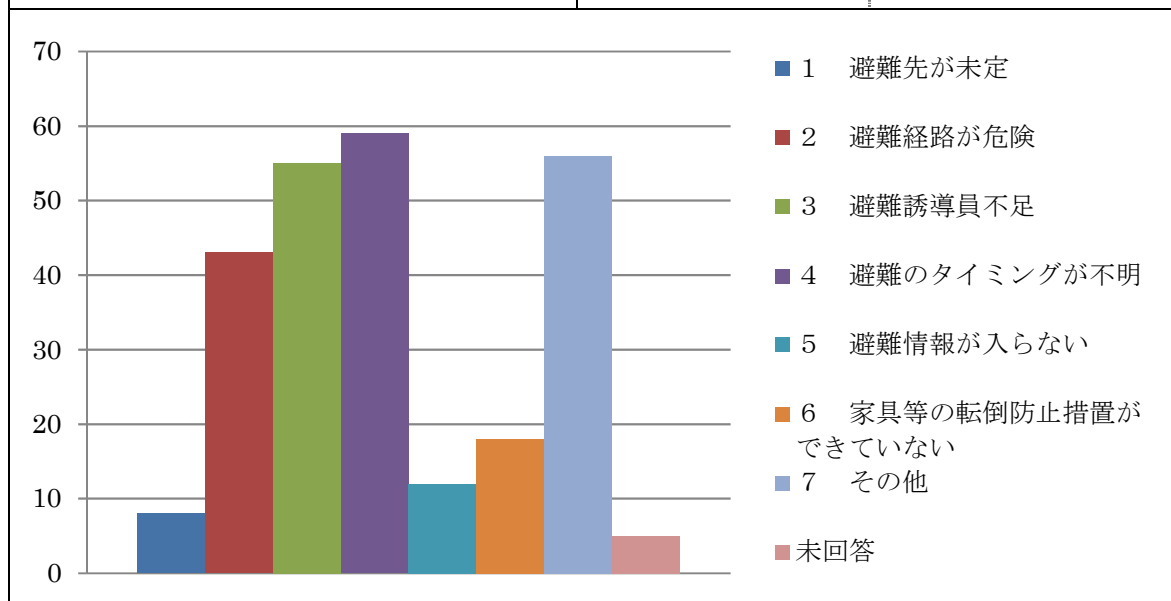
【問1】11月2日には、スマートフォンなどの携帯端末を利用して以下の防災情報の提供を行いました。実際に体験(受信含む)したものを教えてください。(複数回答可)

1 緊急速報メール	182件	71.7%
2 Yahoo!防災速報	25件	9.8%
3 災害伝言ダイヤル・災害用伝言板	6件	2.4%
4 兵庫県CGハザードマップ	14件	5.5%
5 市町ハザードマップ	27件	10.6%
未回答	0件	0%

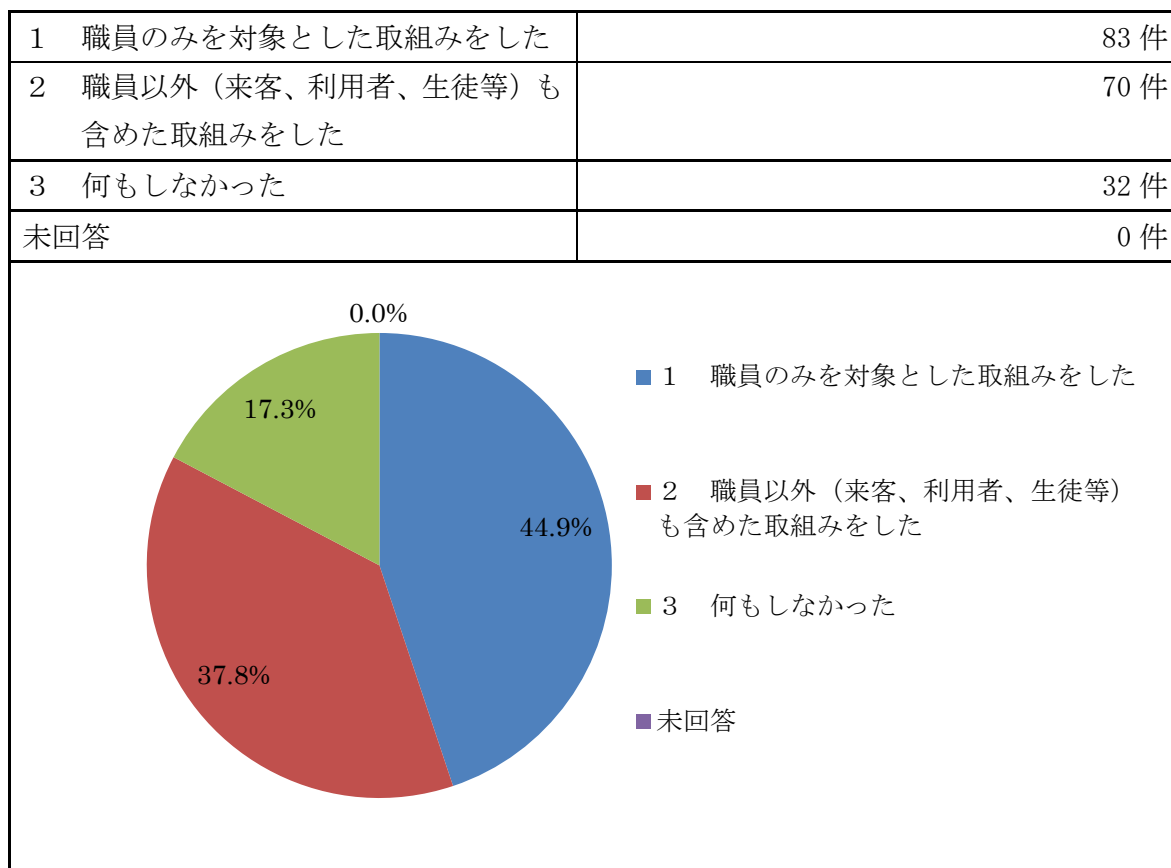


【問2】貴団体で、感じている南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震発生時の課題を教えてください。(複数回答可)

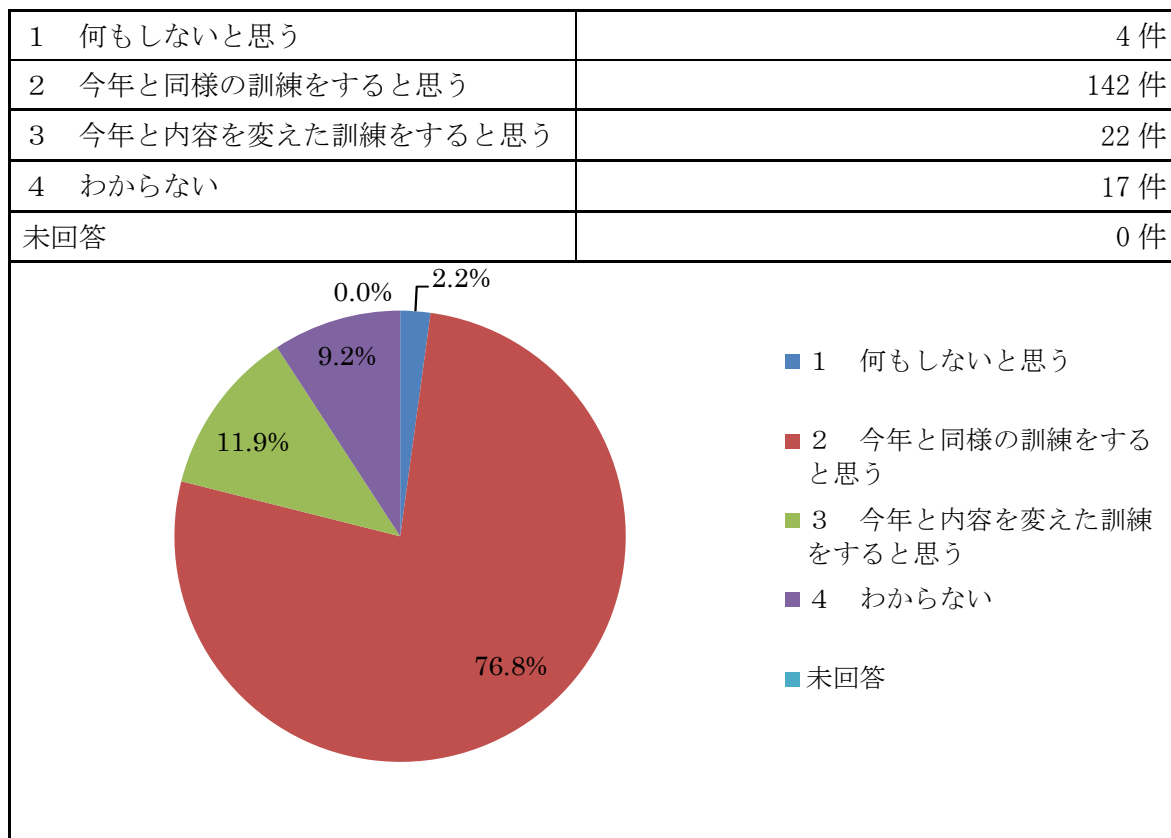
1 避難先が未定	8件	3.1%
2 避難経路が危険	43件	16.8%
3 避難誘導員不足	55件	21.5%
4 避難のタイミングが不明	59件	23.0%
5 避難情報が入らない	12件	4.7%
6 家具等の転倒防止措置ができていない	18件	7%
7 その他	56件	21.9%
	外出中の営業セールスに対しての周知徹底。	
	停電や電話が不通なった場合、円滑な安否確認ができるか	
	高齢者の避難がスムーズに出来るかどうか	
	中高年者が多く、自分達の足で逃げ切れるか不安	
	非常電源の確保。	
	津波の避難区域に入っているが、自園の2階にいるべきか、近くの避難所へ避難すべきかの判断	
	液状化現象で歩行に支障が生じた場合、津波到達時間内に避難場所までの歩行が可能か予測が困難	
	職員が少ない時間帯での垂直避難。地域住民が多く、施設へ避難してきたときの対応	
	0歳児から在籍する施設のため、職員が避難場所まで落ち着いて園児を誘導できるか。	
未回答	5件	2%



【問3】 11月5日「津波防災の日」に伴い、11月1日～11月7日の間に貴団体で防災に関し何らかの取組みをされましたか。

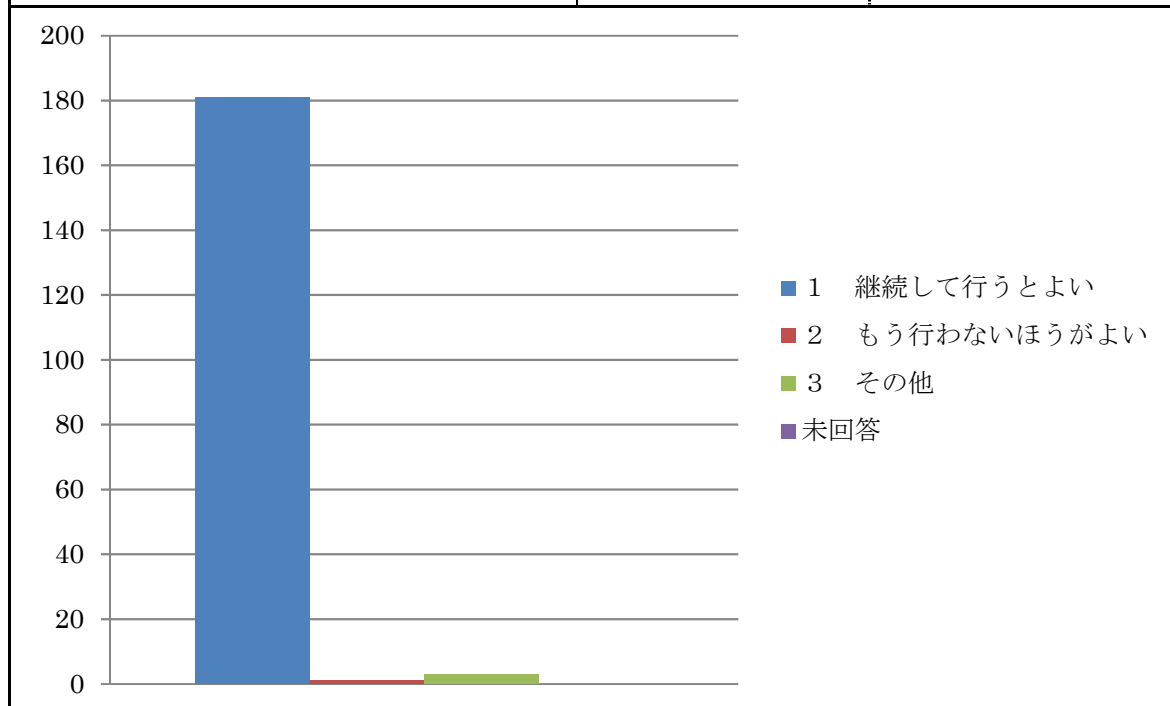


【問4】 来年も同様の一斉訓練があれば、貴団体では何らかの取り組みをされると思いますか。



【問5】 こうした一斉避難訓練を今後も継続していくべきだと思いますか。

1 継続して行うとよい	181 件	97.8%
2 もう行わないほうがよい	1 件	0.6%
3 その他	3 件	1.6%
	防災・津波・地震など統一すべき 公民館等のスピーカーの音声は全く聞こえず、社外への避難が出来ない。	
未回答	0 件	0%



【問6】 今回の一斉訓練に対するご意見があれば教えてください。（複数回答可）

1 意識啓発になった	168 件	64.4%
2 手順などを確認できた	82 件	31.4%
3 業務に支障が出て困った	1 件	0.38%
4 その他	10 件	3.82%
	とにかく継続して行うことが大切だと思います。	
	訓練後の自社アンケートでも、避難の合図としてエリアメールを利用したので、リアリティがあったという回答が多数あった。	
	日頃から月1回、様々なケースを想定した避難訓練を実施しているが、一斉に速報メールを受信して行う避難訓練は職員もとより子ども達にも意識づけをする事ができると感じている。	
	社内用緊急メールの登録状況確認ができた。	
	利用者等にも避難場所等を伝えることができた	
	偶然に訪れていた県外来館者と避難訓練を行いました。旅行者にとって良い経験になったと喜ばれています。	
未回答	0 件	0%

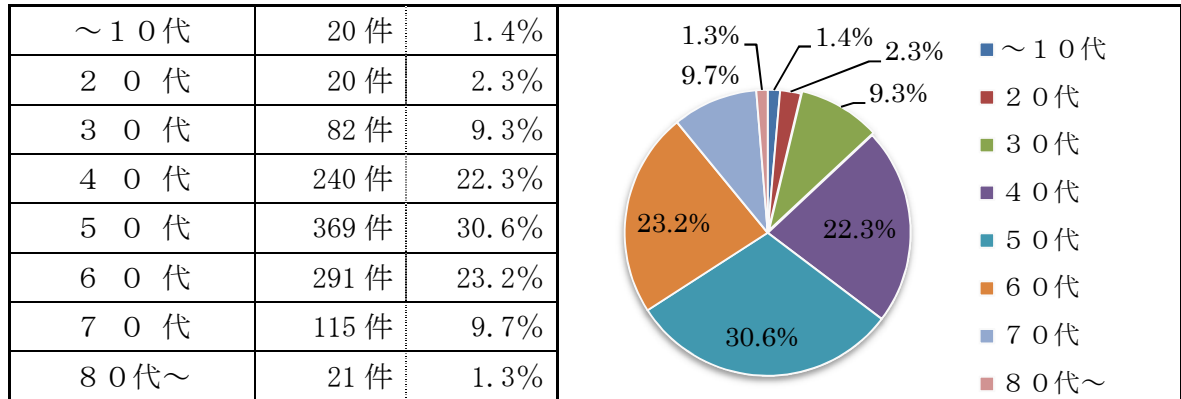
Category	Count
1 意識啓発になった	168
2 手順などを確認出来た	82
3 業務に支障が出て困った	1
4 その他	10
未回答	0

2 津波一斉避難訓練アンケート集計結果(県簡易申請システム)

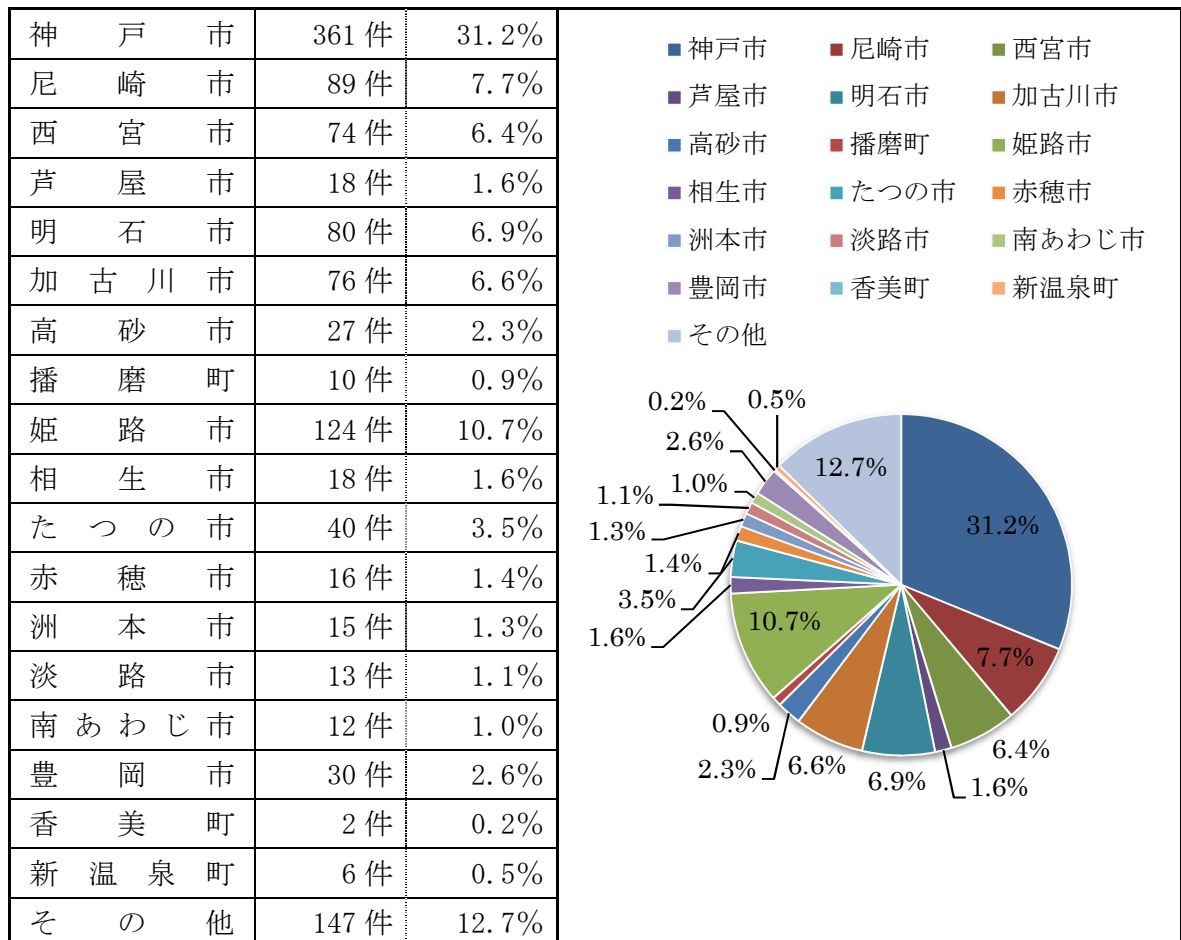
○実施期間：令和4年11月2日（水）～12月31日（土）
 ○集計方法：ひょうご防災ネット登録者に訓練アンケートを配信

(1) 回答件数 1,158 件

(2) 年代

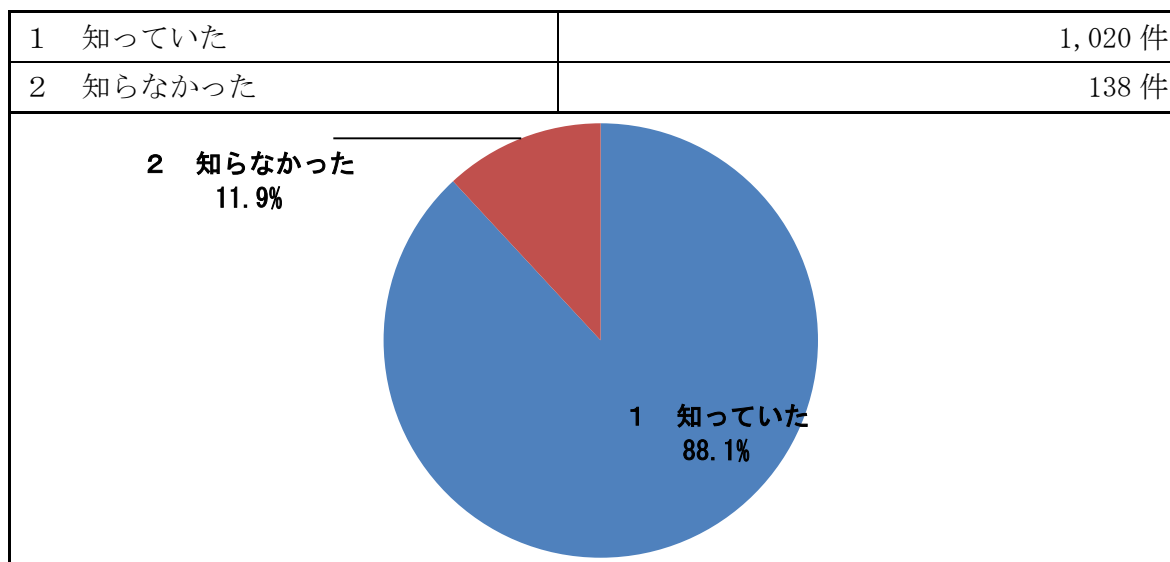


(3) 市町内訳

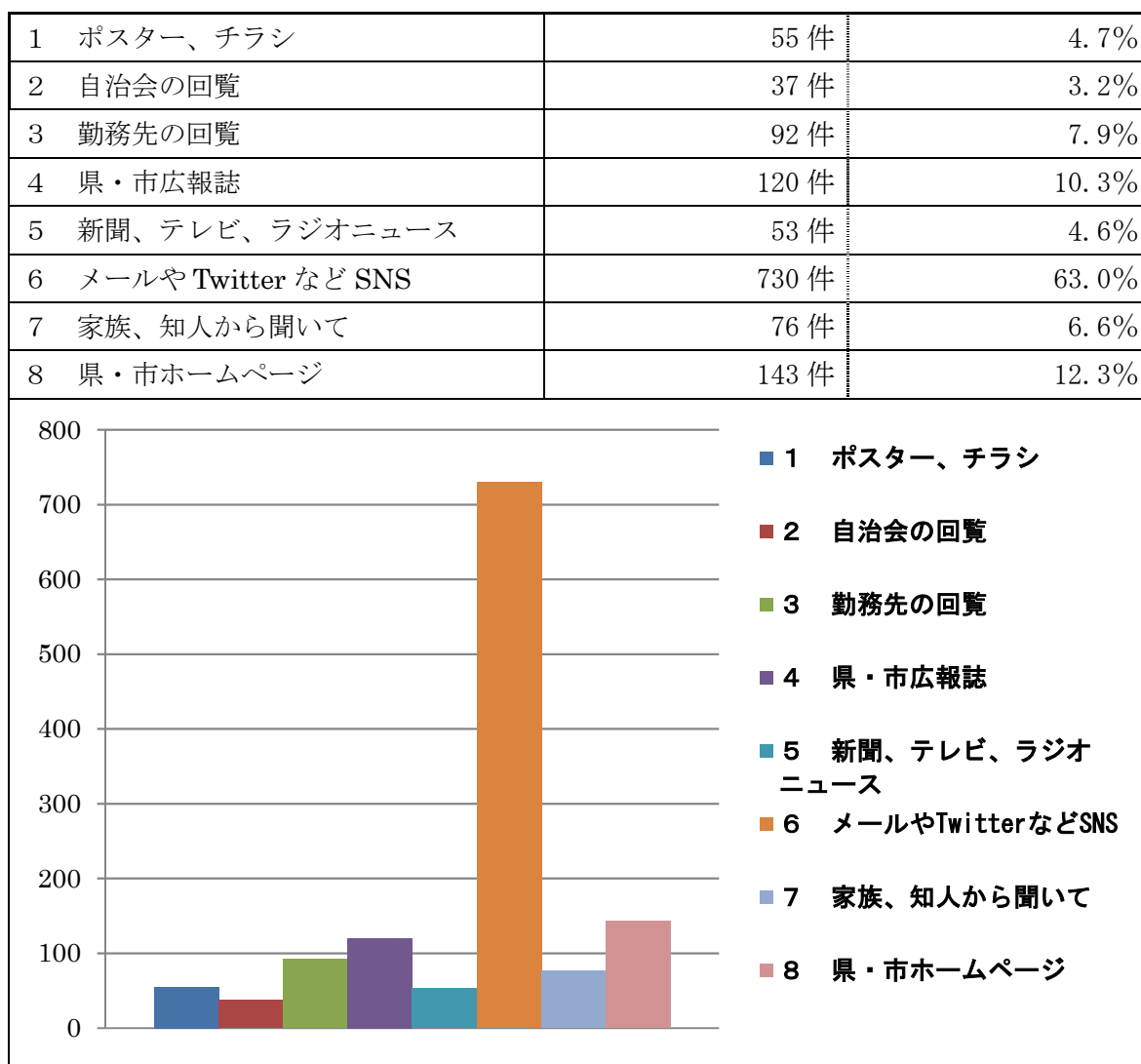


(4) 回答内容

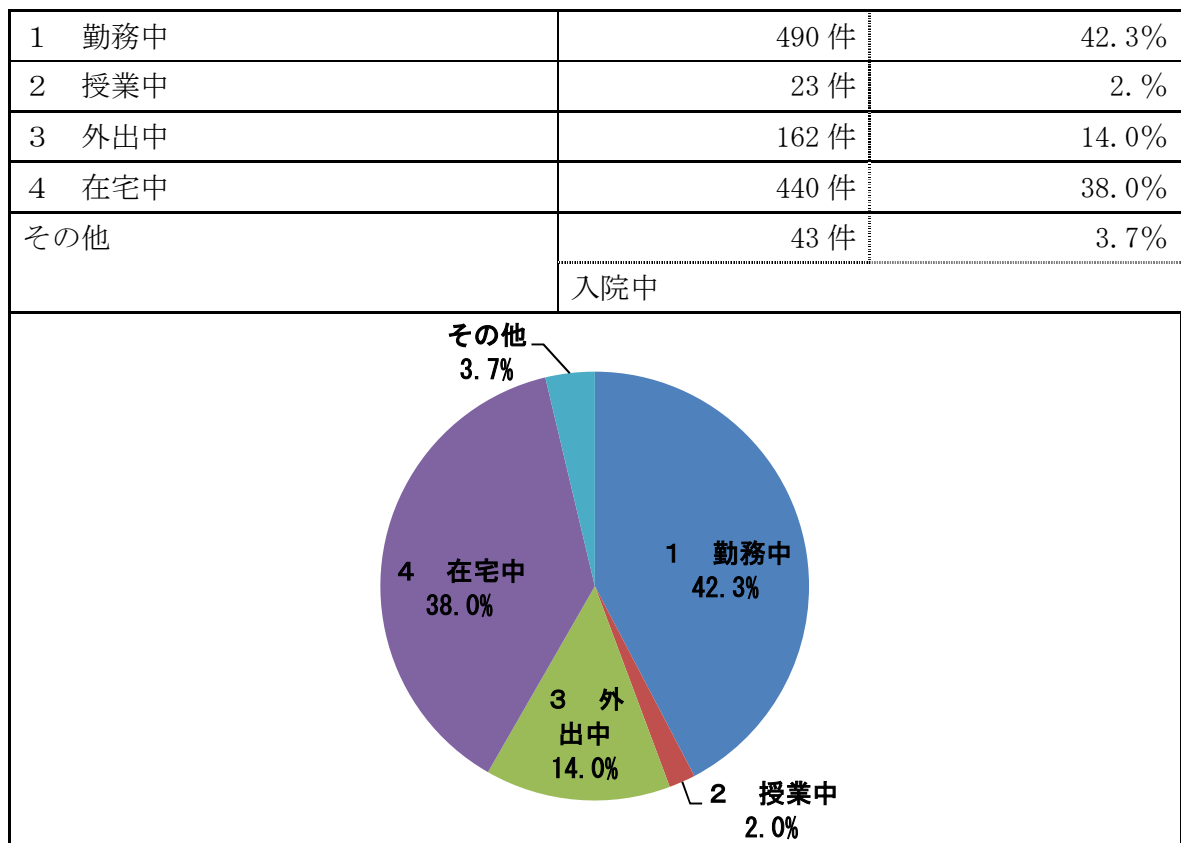
【問1】11月2日に標記訓練が実施されることを事前に知っていましたか。



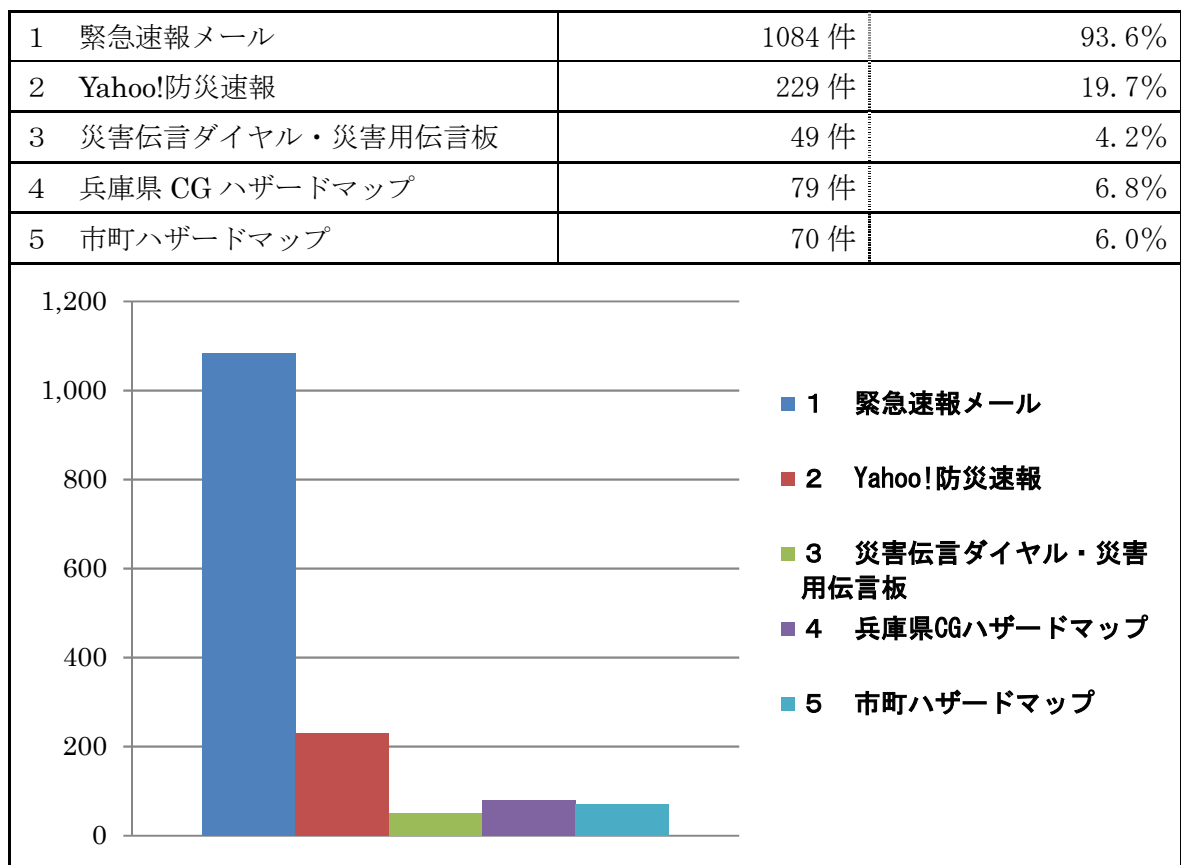
【問2】(問1で1と答えた方)11月2日の訓練のことを、どのように知りましたか。当てはまるものをお答えください。(複数選択可)



【問3】 訓練の時間(午前10時00分)に何をされていましたか。

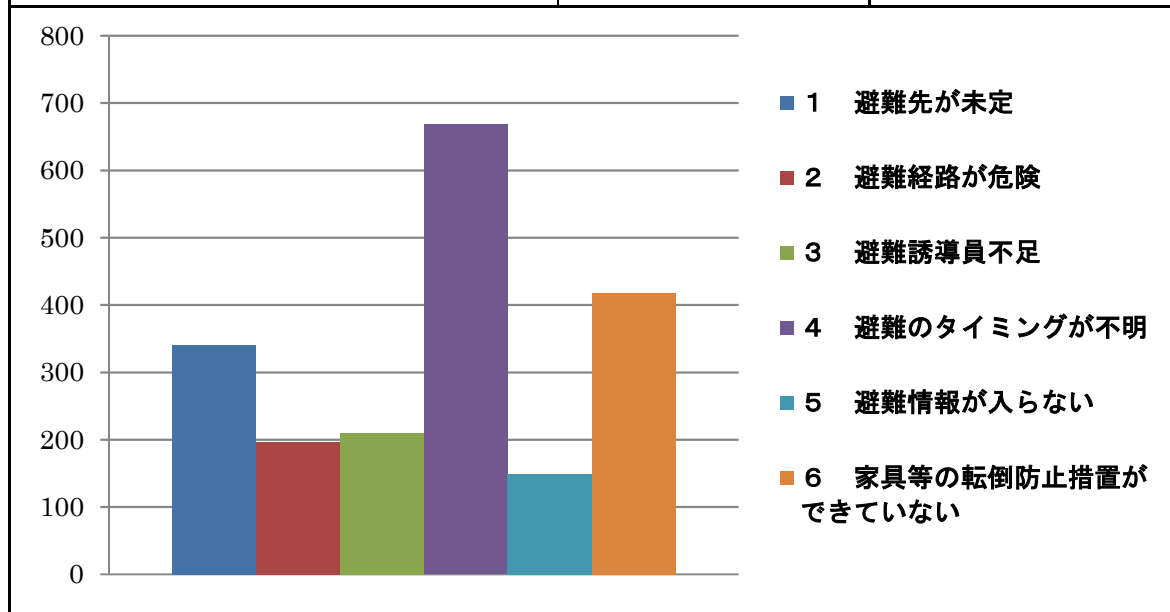


【問4】 11月2日には、スマートフォンなどの携帯端末を利用して以下の防災情報の提供を行いました。実際に体験(受信含む)したものを教えてください。(複数選択可)



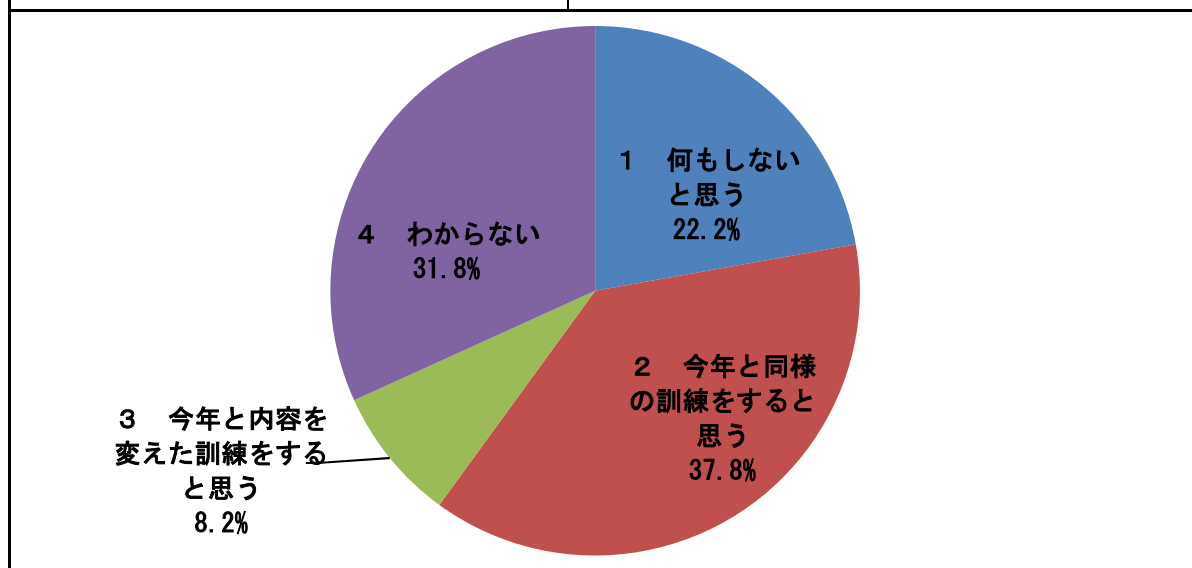
【問5】あなたが感じている南海トラフ地震発生時の課題を教えてください。（複数選択可）

1 避難先が未定	340 件	29.3%
2 避難経路が危険	196 件	16.9%
3 避難誘導員不足	210 件	18.1%
4 避難のタイミングが不明	668 件	57.6%
5 避難情報が入らない	149 件	12.8%
6 家具等の転倒防止措置ができていない	418 件	36.0%



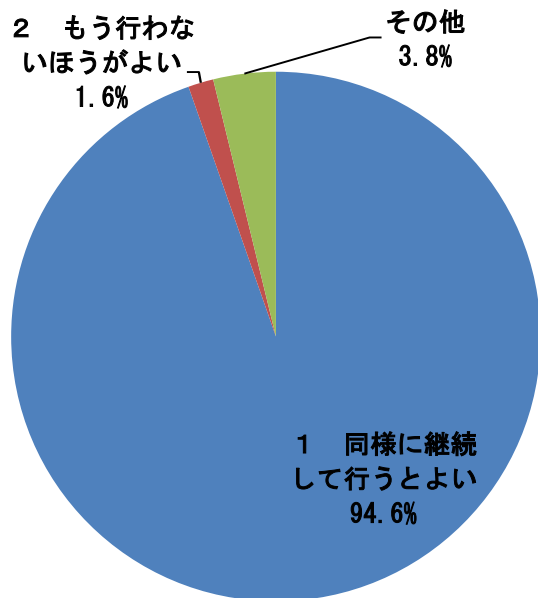
【問6】来年も同様の一斉訓練があれば、何らかの取り組みをされると思いますか。

1 何もしないと思う	257 件
2 今年と同様の訓練をすると思う	438 件
3 今年と内容を変えた訓練をすると思う	95 件
4 わからない	368 件



【問 7】 こうした一斉訓練を今後も継続していくべきと思いますか。

1 継続して行うとよい	1096 件
2 もう行わないほうがよい	18 件
3 その他	44 件



【問 8】 今回の一斉訓練に対するご意見があれば教えてください。(複数選択可)

1 意識啓発になった	1013 件
2 手順などを確認できた	150 件
3 業務に支障が出て困った	24 件
その他	98 件

